

フィリピンでの英語教育（3） —セブ島での語学短期留学を通して—

English Education in the Philippines (3): Through the Study at a Language School in Cebu

(2018年3月31日受理)

竹野純一郎 佐生 武彦 大橋 典晶 松浦加寿子
Junichiro Takeno Takehiko Saiki Noriaki Ohashi Kazuko Matsuura

Key words : フィリピン, セブ島, 短期留学, マンツーマン授業

概 要

本稿では、中国学園大学国際教養学部国際教養学科が開講する海外留学科目の一つである「オリエンテーション海外研修」留学プログラムについて、2015、2016年度に続いて報告する。3年目である2017年度の短期留学プログラムは、語学学校は変更したものの、前2回と同様フィリピン・セブ島にある語学学校での実施となった。プログラム内容・語学学校の簡単な紹介に加え、参加した国際教養学部1年生を対象に実施したアンケート結果から本プログラムの意義を検討する。同時に、前2年の結果に比較考察を加えることで、短期留学の成果と今後の課題を検証する。

1. はじめに

中国学園大学国際教養学部（以下「本学部」という。）は、2017年度も2015、2016年度に引き続き、フィリピン・セブ島にて「オリエンテーション海外研修」留学プログラムを実施した。本学部の人材育成における留学プログラムの位置づけについては、竹野ほか（2016）に記されているのでここでの重複は避けたい。本稿では、2017年度に「オリエンテーション海外研修」で実施した、フィリピン・セブ島での短期留学プログラムについて、前2回の実績と比較考察をしながら報告する。

2. 「オリエンテーション海外研修」短期留学プログラム

本学部の「オリエンテーション海外研修」のユニークな点は、大学生活へのオリエンテーションという意味合いから、入学後約1か月の頃に実施していることである。渡航先は東南アジアの国で、研修期間は往復を含め

た約2週間のプログラムになっている。期間中は、現地の大学または語学学校で提供されるESL (English as a Second Language) の授業に参加し、他国の留学生と共に英語でのコミュニケーションのスキルを学ぶことになる。英語研修以外にも、社会貢献・文化交流活動などを通して、異文化で生きる術の習得や、人間力の強化を目指している。2017年度の研修先は、2015、2016年度にお世話になったフィリピンのセブ島にある語学学校 SMEAG Global Education（以下「SMEAG」という。）、CAPITAL CAMPUSではなく、Cebu English Academy（以下「CEA」という。）であった。なお、「オリエンテーション海外研修」の単位認定、費用、安全性の確保については、竹野ほか（2016）に詳しいのでここでは省略する。

今回のプログラムの参加者は、本学部1年生20名であり、同行者は、教員1名（竹野）と関西国際空港から帰国の関空まで担当するCEAの日本人現地スタッフ1名の計2名であった。入学後間もない海外での短期留学プログラムであり、海外渡航が初めてという学生が多かったため、事前研修は必要不可欠であると考えた。計4回の

事前研修を行ったが、第1回と第4回は株式会社レオパレス21グループの旅行会社である株式会社ウイングメイトと語学学校CEAのスタッフにご協力をいただいた。第2回と第3回の研修は、過去の引率経験を生かしながら今回の同行者である竹野が担当した（表1）。

3. 渡航先としてのフィリピン

竹野ほか（2016）の「3. なぜフィリピン・セブなのか」、竹野、藤代、伊藤（福田）（2017）の「3. 英語留学先としてのフィリピン」では、それぞれ一章ずつ割いて、フィリピン、中でもセブ島で英語留学をするメリットやフィリピン人の国民性について論じた。本稿では、フィリピンと日本との関わりを、それぞれの国を渡航先として見た場合について検証したい。

日本政府観光局（JNTO）（以下「JNTO」という。）のHPで「世界の市場別基礎情報」から「フィリピンの基礎データ」を参照することができる。そのデータから、「アジア各国・

地域へのフィリピン人訪問者数」を確認する。

図1から読み取れる事実としては、日本と韓国へのフィリピン人訪問者数が著しく伸びているということである。2003年に始まった日本政府によるビジット・ジャパン事業の効果や、2020年の東京オリンピック開催が控えていることもあり、日本へのインバウンドはここ数年間で確実に増加している。JNTOのHPで「訪日外客統計の集計・発表」の中から「2017年12月推計値（平成30年1月16日発表）」を確認すると、2017年の訪日外客数は2,869万1千人で過去最多であり、フィリピンの訪日旅行者数も424,200人で過去最高を記録し、初めて年計で40万人を超えたようである。要因としては、「航空路線の拡充やフィリピン経済の安定など、外部環境と訪日旅行プロモーションの相乗効果が、訪日機運の醸成を促した」と記されている。多くの国からの訪問者数が増えている現状ではあるが、「フィリピンの基礎データ」からも読み取れるように、商用目的よりむしろ観光目的の訪問者数が目立って増加傾向にあるのは、フィリピン人の日本へ

表1 短期留学プログラム事前研修スケジュール

月日	時間	研修内容	配布物
第1回 4月5日(水)	9:20~10:50	Cebu English Academy (CEA) について セブ島紹介ビデオ・学校ビデオ鑑賞 学校での過ごし方・諸注意 海外旅行保険の案内	英語研修について（研修プログラムのご案内） 行程表 海外旅行保険申込書
第2回 4月11日(火)	9:20~10:50	旅行の目的・意義について フィリピンやセブ島について	Questions about the Philippines (フィリピンについてのQ&A)
第3回 4月18日(火)	9:20~10:50	持ち物について 海外渡航に関する注意事項 ・受託手荷物の重量制限 ・入国審査・税関の通り方 学外アクティビティーについて【空港見学ツアー・市内観光ツアー】 休日オプションツアーについて【アイランドホッピングツアー】	CEA渡航案内 CEAオリエンテーション 同意書 持ち物チェックリスト 学外アクティビティーについて オプションツアーについて
第4回 4月25日(火)	9:20~10:50	事前研修のまとめ 直前オリエンテーション（最終確認） ・機内持ち込み荷物に入れるもの ・モバイルWi-Fiについて	保険証書 航空便の案内（E-チケット） 旅のしおり セブ/ボホールMap Guide 空港ピックアップ情報

(人)

訪問先	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
日本	85,037	108,351	184,204	268,361	347,860
中国	961,975	996,672	967,900	1,004,000	
香港	709,753	705,319	634,744	704,082	675,914
シンガポール	656,804	687,794	676,481	673,374	691,643
マレーシア	508,744	557,147	618,538	554,917	417,446
韓国	331,346	400,686	434,951	403,622	556,745

各国受入国統計より、日本政府観光局(JNTO)調べ

図1 アジア各国・地域へのフィリピン人訪問者数（出典：日本政府観光局(JNTO)）

(人)

訪問先	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
フィリピン	375,496	412,474	433,705	463,744	495,662
中国	3,658,169	3,518,153	2,877,533	2,717,600	2,497,700
香港	787,220	774,426	607,877	636,432	632,959
シンガポール	656,417	757,116	832,845	824,741	789,179
マレーシア	386,974	470,008	513,076	553,106	483,569
韓国	3,289,051	3,518,792	2,747,750	2,280,434	1,837,782

図2 2011年-2015年 各国・地域別日本人訪問者数（日本から各国・地域への到着者数）

(出典：日本政府観光局(JNTO)を基に作成)

の興味関心の高まりと好意的に解釈したい。

一方で、日本からフィリピンへの訪問者数はどうなっているのでしょうか。JNTOのHPで「統計データ（訪日外国人・出国日本人）」の中から「年別各国・地域別日本人訪問者数（2011年-2015年、日本から各国・地域への到着者数）」を確認することができる。そのデータを基にして、図1で扱われている訪問先の国や地域にフィリピンを加え、図2を作成した。

図2から、各国・地域への日本人訪問者数を確認してみると、訪問者数が増加しているのはフィリピン、シンガポール、マレーシアであった。中でも、訪問者数が過去5年間連続して増加しているのはフィリピンだけであることが分かる。

フィリピンと日本、それぞれの国から相手国を渡航先として検証してみたが、双方の国への訪問者数が確実に増えていることが分かった。フィリピンの人口は増加を続け既に1億人を超えている。同じアジアの国として、今後ますます両国の関わりは深くなっていくのではないだろうか。

4. 短期留学期間中の様子

短期留学プログラムは、平成29年5月7日から5月20日までの全日程14日間での実施であった（付録1）。CEAでは、研修初日に、Listening, Speaking, Reading, Writingの4技能を測定するレベルチェックテストを受験した。レベルチェックテストの結果を基に、各自の英語力にあったグループ、教材が選定された。本学部学生はESLコースを受講選択しており、授業スケジュールは個人向けに組まれた。1日の大まかな流れは表2のとおりであるが、マンツーマン授業、クラス形式のグループ授業、義務自習の時間帯は学生によって異なっていた。

表2 ESLの時間割例

	時間	授業など	内容
	06:45-07:30	(選択) 早朝グループ	リスニング, ボキャブラリー
	07:00-08:00	朝食	
1 st	08:00-08:45	マンツーマン授業	4 技能 (Listening, Speaking, Reading, Writing)
2 nd	08:50-09:35	マンツーマン授業	4 技能 (L, S, R, W)
3 rd	09:40-10:25	グループ授業	トピックカンバセーション
4 th	10:30-11:15	空き時間 (自習)	
5 th	11:20-12:05	義務自習	
	12:05-13:05	昼食	
6 th	13:05-13:50	空き時間 (自習)	
7 th	13:55-14:40	マンツーマン授業	4 技能 (L, S, R, W)
8 th	14:45-15:30	マンツーマン授業	4 技能 (L, S, R, W)
9 th	15:35-16:20	義務自習	
10th	16:25-17:10	空き時間 (自習)	
	17:10-18:00	夕食	
	18:00-18:45	(選択) 夜間グループ	リスニング, ボキャブラリー
	18:00-	フリータイム	

フィリピンの語学学校の特徴はマンツーマン授業であるが、CEAでは、ESL 4 コースというカリキュラムを選択していたので、毎日45分×4コマのマンツーマン授業が確保されていた。10人程度グループでトピックカンバセーションを行う授業が1コマ、出席が義務付けられている義務自習が2コマ、希望すれば、早朝・夜間の選択授業2コマも受講することができ、学生は合計9コマまでの十分な時間のレッスン受講が可能であった。加えて、学生たちは毎日英語で日誌を書くことが課せられていた。

CEAは、首都マニラのニノイ・アキノ国際空港に次ぐフィリピン第2の国際空港であるマクタン・セブ国際空港から車で約30分、セブの中心地に近くSM City Cebu(以下「SMモール」という。)まで徒歩3～5分、AYALAモールまではタクシーで15分程度という恵まれたロケーションであった。SMモールは500店舗以上、AYALAモールは本館だけで約360店舗を有するセブの2大ショッピングモールである。CEAの学校規模は200名程度で、日本人経営初English Only Policy (EOP) を採用していることが特徴である。学生は8:00～17:00は英語で話さなければならず、たとえ日本人の友だち同士でもイングリッシュ

オンリーという決まりが課せられていた。朝食後から夕食前までは休憩時間も英語漬けになるので、語学学校内では英語圏に留学しているような雰囲気が味わえた。5階建ての1階には受付とオフィス、そして自由に使えるジムがあった。2階と3階はそれぞれ女性用、男性用の学生寮になっており、談話コーナーも用意されていた。それぞれの部屋にはベッド、トイレ、シャワー、洗面所、クローゼット、エアコン、冷蔵庫、勉強机が備えられており、4階には食堂、カフェ、教室、そして5階にも教室があった。教室はマンツーマン授業用、グループ授業用と大きさはさまざまであった。食堂では主に日本人向けの食事が提供され、各フロアにはウォーターサーバーが設置されていた。指定場所ではWi-Fi接続が可能であり、週2回のランドリーサービスも提供されていた。勉強するときにはしっかり勉強し、そのあとはSMモールで息抜きもできる、留学の条件が整った魅力的な語学学校という印象であった。

表2のような生活の繰り返しの中、付録1の行程表で確認できるように、学外アクティビティとして、5月11日(木)午前中には、マクタン・セブ国際空港を見学し、午後はAYALAモール散策を実施した。また、5月17

日 (水) の午前中には、マゼランクロスとサントニーニョ教会、サン・ペドロ要塞などセブ市内にある観光地で文化視察を行い、スペインの影響が色濃く残るフィリピン文化の一端を学ぶことができた。休日オプションツアーについては、学生たちからの強い要望もあり、5月13日 (土) に全員でアイランドホッピングツアーに参加し、シュノーケリングやBBQを楽しむなどフィリピン・セブの魅力に触れながら英気を養ったことも記しておきたい。

全行程の詳細については、中国学園大学国際教養学部 Facebook で写真とともに確認することができる。今回の短期留学の課外行事の一つであったマクタン・セブ国際空港見学、AYALA モール散策、そして研修の最終日の修了式の様子をここで紹介し、本プログラムが成功のうちに終了した報告としたい。

〔セブ島研修報告〕 By Junichiro Takeno

5月11日 (木)

今日は午前中、マクタン・セブ国際空港へ見学に行ってきました。特別な許可証を胸に貼り、空港内へ入れていただき職員の方から英語で説明を受けました。中でも面白かったのは、関係者以外入ることができない管制塔に入れていただいたことと、空港職員による新しいセブ国際空港の建設についての話でした。現在のマクタン・セブ国際空港は国内線・国際線が離着陸していますが、2018年6月に新空港が完成すると国際線はすべてそちらへ移り、現在の空港は国内線のみ扱いとなるようです。ちなみに、新空港はホテルやショッピングモールを備えた素晴らしいものになるようです。セブを訪れる人の数は年々増加しているとのことでした。

約1時間半の空港見学の後、1時間程度かけてAYALA モールへ散策に行きました。SMモールと並ぶセブの2大ショッピングモールの一つであるAYALAモールは、市内にありながら大きなガーデンを有することが魅力です。学生たちもAYALAでの午後をエンジョイしていたようです。その後各々タクシーに乗って全員指定した時間には帰ってきたので、今日の社会勉強は合格です。さあ、明日はまた授業です。疲れを出さず頑張ろう！

5月19日 (金)

今日は通常通り9限まで授業があり、10限目の4:25から卒業式が行われました。卒業式は本学部の学生だけでなく一般の卒業生2名、そしてCEAの先生3名のお別れ会も兼ねていました。セレモニーは1時間半ほどで、引率者竹野の簡単なオープニングスピーチの後、本学部の学生が一人ずつ30秒から1分程度のスピーチを行い、マンツーマン授業でお世話になったバディの先生から証書の授与、そして写真撮影という流れの繰り返しでした。本学部の学生の証書授与が終了すると一般の卒業生の方の証書授与、そしてCEAの先生方のお別れ会が続きました。感動の卒業式というよりは、とにかく明るい雰囲気の中で、フィリピンの先生方は盛り上げ上手でラテンのノリを持っていると実感しました。学生のスピーチの中に、「またCEAに来たいです」というコメントもあったので先生方も喜んでいました。卒業式後は先生方と学生で写真を撮り合うなどして楽しそうな雰囲気でした。CEAの先生方、スタッフの皆さま、お世話になり本当にありがとうございました。

入学後1か月という時期に海外で2週間の短期留学を行うということはかなりインパクトがあると思います。今回が初めての海外という学生が半数以上いましたが、多くのことを学んでくれたと確信します。大学4年間は始まったばかりです。今回の研修がみんなの大学生活のよい方向づけ (オリエンテーション) になることを心から願います。2週間よく頑張りました。本当にお疲れ様でした。

5. アンケート結果と考察

短期留学プログラムを終えた約1週間後に「セブ島研修アンケート」を実施した。質問と学生の回答を紹介し、前年度の結果と比較しながら考察を加えていきたい。括弧内の数値は〔2017年度 (2016年度, 2015年度)〕の順で記載している。

「セブ島研修アンケート」

I 以下の項目に関して、「1 全く同意できない, 2 同意できない, 3 どちらとも言えない, 4 同意できる, 5 非常に同意できる」から最も当てはまるもの

を選んでください。

- A) 事前研修に満足した。[4.35 (3.31, 4.26)]
- B) 今回の海外研修全体に満足した。[4.85 (4.15, 4.47)]
- C) マンツーマン授業に満足した。[4.85 (4.50, 4.47)]
- D) 義務自習に満足した。[4.15 (—, —)]
- * D) 少人数グループ (4人) ディスカッションの授業に満足した。[— (4.50, 4.11)]
- E) 集団の授業に満足した。[4.40 (3.08, 3.32)]
- * 2017年度は10人程度, 2016年度, 2015年度は20人程度
- F) (学外アクティビティーについて) セブ国際空港見学とジョブセミナーに満足した。[4.10(—, —)]
- * F) (学外アクティビティーについて) マングローブ植林に満足した。[— (—, 3.32)]
- G) (学外アクティビティーについて) 市内観光 (サントニーニョ教会・サンペドロ要塞)に満足した。[4.40 (—, —)]
- * G) (学外アクティビティーについて) 孤児院 (小学校) 訪問に満足した。[— (4.92, 4.21)]
- H) 今回の研修を通して, スピーキングスキルが向上した。[4.30 (3.88, 3.53)]
- I) 今回の研修を通して, リスニングスキルが向上した。[4.30 (3.85, 3.84)]
- J) 今回の研修を通して, リーディングスキルが向上した。[3.85 (3.54, 3.58)]
- K) 今回の研修を通して, ライティングスキルが向上した。[3.75 (3.38, 3.42)]
- L) 今回の研修を通して, 語彙力が向上した (単語の知識が増えた)。[4.20 (3.81, 4.00)]
- M) 今回の研修を通して, 今までより英語を勉強したいと思った。[4.80 (4.58, 4.37)]
- N) 今回の研修を通して, 今までより外国の文化に興味を持った。[4.65 (4.58, 4.32)]
- O) 今回の研修に参加した経験は, 将来の自分のためになると思う。[4.95 (4.85, 4.89)]
- P) もし, このようなプログラムがあったら, また参加したい。[4.75 (4.46, 4.68)]

A) ~ P)の横の括弧内の数値は参加学生の回答の平

均値である。アンケートは5件法を用いており, 全質問の平均は [4.42 (4.09, 4.05)] であった。A) 事前研修の満足度 [4.35 (3.31, 4.26)], B) 研修全体の満足度は [4.85 (4.15, 4.47)] であった。事前研修の満足度について, 2年目の事前研修の数値が低い, これは前年度の実績があったため事前研修以外からの情報が豊富であったことが影響したのかもしれない。今回のプログラムでは語学学校が変更になっていたこともあり, 事前研修を新鮮な気持ちで受けることができたと考えられる。研修全体の満足度が過去2年と比べ高いのは, 歩いて数分の距離に大型ショッピングモールがあったことも要因の一つと考えられる。1週目は引率者同行でSMモールへ行っていたが, 2週目に入る日曜日からは, 一人で行動しないこと, 8時の門限を厳守すること, 平日は夕食後のフリータイムのみ, という条件でSMモールまでの外出を許可していた。

授業形式について, C) マンツーマン授業 [4.85 (4.50, 4.47)], D) 義務自習に満足した。[4.15 (—, —)] * 過去2年は少人数グループ授業 [— (4.50, 4.11)], E) 集団の授業 [4.40 (3.08, 3.32)] * 2017年度は10人程度, 2016年度, 2015年度は20人程度, という結果であった。他の授業形態に比べて, 今回も過去2年と同様にマンツーマン授業の評価が高かった。集団の授業に関しては, グループを形成する人数や構成するメンバーが異なるので一概に比較はできないが, 今回は同学部の仲間同士で10人というグループであったことが比較的高評価につながった原因であると考えられる。義務自習については, コミュニケーションを取りながら学ぶ授業形態と比べるとやはり低い評価となった。

学外アクティビティーについて, F) セブ国際空港見学とジョブセミナー [4.10 (—, —)], G) 市内観光 (サントニーニョ教会・サンペドロ要塞) [4.40 (—, —)] という結果であった。過年度と今回の学外アクティビティーは実施内容が異なるので比べることはできないが, 今回の二つのアクティビティーを比較したとき, 空港見学とジョブセミナーが少し低い数値になった理由は, 見学ツアー中の英語での説明が周囲の騒音のため聞き取りにくかったということに起因していると推察する。

次に, 4技能や語彙力などの英語力に関する学生の

回答であるが、H)スピーキングスキルの向上 [4.30 (3.88, 3.53)], I)リスニングスキルの向上 [4.30 (3.85, 3.84)], J)リーディングスキルの向上 [3.85 (3.54, 3.58)], K)ライティングスキルの向上 [3.75 (3.38, 3.42)], そしてL)語彙力の向上 [4.20 (3.81, 4.00)] という結果であり、総じて、2017年度の数値は肯定的なものが多いことがうかがえる。3年間を通していえることであるが、スピーキングやリスニングといった音声でのコミュニケーションの方が、リーディング、ライティングといった文字によるコミュニケーションよりも向上を実感する学生が多いようである。

M)今までより英語を勉強したい [4.80 (4.58, 4.37)], N)今までより外国の文化に興味を持った [4.65 (4.58, 4.32)], P)このようなプログラムがあったらまた参加したい [4.75 (4.46, 4.68)] という、今後の意欲に関する質問項目は3年間を通して高評価であった。O)今回の経験は将来の自分のためになる [4.95 (4.85, 4.89)] に関しては、初年度も一番評価が高かった回答であるが、今回参加した学生たちも本プログラムの経験が有意義であったと考えているようである。本学部としては、このプログラムが学生たちの将来のためになると信じ、本プログラムをより良い形で継続していかなければならないと改めて強く思う。

本論ではアンケートの5段階スケールでの回答のみを紹介したが、「II 自由記述」「III 後輩へ」「IV フリーコメント」に関しても、付録2で学生たちの生の声として確認することができる。

6. おわりに

本学部の海外短期留学プログラムは今回で3度目の試みであった。入学約1か月後に海外でオリエンテーション研修を行うことは、非常に意義のあるものであることが再認識できた。帰国後、学生たちがどれだけ短期留学プログラムでの経験をその後の自己実現に生かせるか、教員はどのようにその手助けができるのかが課題であると前年度記したが、3回目になる今回の研修を振り返ってもやはり同じ結論になる。本学部の学生たちのますますの頑張りに期待したい。

引用文献

- 竹野純一郎・福田衣里・梅原嘉介・佐生武彦・小野山和男・大橋典晶ほか (2016) 「フィリピンの英語教育 (1) -セブ島での語学短期留学を通して-」『中国学園大学紀要』第15号, 131-140.
- 竹野純一郎・藤代昇丈・伊藤(福田)衣里 (2017) 「フィリピンの英語教育 (2) -セブ島での語学短期留学を通して-」『中国学園大学紀要』第16号, 237-246.
- 中国学園大学 国際教養学部 Facebook
<https://www.facebook.com/%E4%B8%AD%E5%9B%BD%E5%AD%A6%E5%9C%92%E5%A4%A7%E5%AD%A6-%E5%9B%BD%E9%9A%9B%E6%95%99%E9%A4%8A%E5%AD%A6%E9%83%A8-694475763972301/> (2018年3月15日アクセス)
- 日本政府観光局(JNTO) (2017) 「2011年～2015年 各国・地域別 日本人訪問者数 (日本から各国・地域への到着者数)」
https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/20170515_2.pdf (2018年3月15日アクセス)
- 日本政府観光局(JNTO) (2017) 「フィリピンの基礎データ」
https://www.jnto.go.jp/jpn/inbound_market/market_basic_philippines.pdf (2018年3月15日アクセス)
- 日本政府観光局(JNTO) (2018) 「訪日外客数 (2017年12月および年間推計値)」
https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/data_info_listing/pdf/180116_monthly.pdf (2018年3月15日アクセス)

付録1：新入生オリエンテーション海外研修 行程表

新入生オリエンテーション海外研修行程表（5/7～5/20）

	日付	都市名	時刻	交通機関		朝	昼	夕
①	5/7 (日)	岡山駅 岡山駅 関西国際空港 関西国際空港 マクタン・セブ国際空港 マクタン・セブ国際空港	8:00 8:15 12:30 15:25 19:00	発 バス 着 PR409 発 着 専用車	岡山駅西口集合 バスにて、関西国際空港へ ※途中休憩有り 出国手続き後、空路、セブ島へ 到着後、入国手続き 語学学校スタッフの送迎にて、宿舎へ 【宿泊地：CEA寮泊】	—	—	機内
②	5/8 (月)	セブ島			【午前】レベルチェックテスト 【午後】オリエンテーション(滞在中の諸注意や両替等) 【宿泊地：CEA寮泊】	○	○	○
③	5/9 (火)	セブ島			終日、英語授業 【宿泊地：CEA寮泊】	○	○	○
④	5/10 (水)	セブ島			終日、英語授業 【宿泊地：CEA寮泊】	○	○	○
⑤	5/11 (木)	セブ島			【午前】マクタン・セブ国際空港見学 【午後】AYALA モール散策 【宿泊地：CEA寮泊】	○	○	○
⑥	5/12 (金)	セブ島			終日、英語授業 【宿泊地：CEA寮泊】	○	○	○
⑦	5/13 (土)	セブ島			終日、フリータイム (大学や語学学校の指示に従って行動してください) 【宿泊地：CEA寮泊】	×	ラン	チ
⑧	5/14 (日)	セブ島			終日、フリータイム (大学や語学学校の指示に従って行動してください) 【宿泊地：CEA寮泊】	×	ラン	チ
⑨	5/15 (月)	セブ島			終日、英語授業 【宿泊地：CEA寮泊】	○	○	○
⑩	5/16 (火)	セブ島			終日、英語授業 【宿泊地：CEA寮泊】	○	○	○
⑪	5/17 (水)	セブ島			【午前】市内文化視察 【午後】英語授業 【宿泊地：CEA寮泊】	○	○	○
⑫	5/18 (木)	セブ島			終日、英語授業 【宿泊地：CEA寮泊】	○	○	○
⑬	5/19 (金)	セブ島			終日、英語授業 【宿泊地：CEA寮泊】	○	○	○
⑭	5/20 (土)	セブ島 マクタン・セブ国際空港 マクタン・セブ国際空港 関西国際空港 関西国際空港 岡山駅	早朝 9:15 14:25 15:30 20:00	発 専用車 着 PR401 発 バス 着	語学学校スタッフの送迎にて空港へ 出国手続き後、空路、関西国際空港へ 入国手続き後、バスにて岡山駅西口へ 岡山駅西口到着後、解散 お疲れ様でした。	×	機内	—

PR：フィリピン航空

※上記スケジュールは航空機や現地の事情により、変更になる場合がございますので予めご了承下さい。

付録2：セブ島研修アンケート

II 自由記述

A) 今回の研修でよかった点

- ・たくさんの人々と出逢うことができ、色々な考え方があることに気づけた。
- ・英語の使い方が分かるようになり、自然と口から英語がでてくるようになった。文化を知ることができた。
- ・マンツーマンだから聞きたいことや疑問点を素直にぶつけられた。先生も優しいから勉強しやすい環境で過ごしやすいかった。
- ・セブの観光（教会、海、アヤラモールなど）。外国の学校で先生や生徒たちとふれあえたこと。
- ・マンツーマン授業がとても良かった。アイランドホッピングやショッピングモールに行かせてもらえて毎日楽しかった。
- ・CEAの先生は若い方が多く、英語での授業なのにどのレッスンでも丁寧に分かりやすくとても楽しかった。
- ・クラスメイトの仲が良くなってたくさんを知れたこと。
- ・毎日英語に触れたため、リスニング力が向上した。
- ・土日以外の平日も外に出れたこと。外国人との関わり合いを通して、英語を話せるようになりたい、英語で自分の進路を切り開いて行きたいという気持ちが強くなった。
- ・マンツーマンで自分のレベルに合わせた授業が受けられる点。

B) 今回の研修でよくなかった点

- ・特にないです。でもSMモールばかりでなく他も行ってみたかった。
- ・英語学習のレベルがあまり合っていなかった。スピーキングの授業でほとんどワークをしていた。
- ・料理。Wi-Fiの接続が悪い。
- ・なまりが強い人がいてちょっとわかりにくいことがあった。
- ・No problem.
- ・もう少し期間が長くても良かったのではないかな。
- ・授業時間が45分しかなかったため、テキストの内容を進めることが満足にできなかった。

- ・食事やトイレ、水などは日本に比べよくなかったが、それは仕方がないことなので、それ以外で考えると、とても良い研修だと思う。
- ・空港見学が思ったよりつまらなかった。人がたくさんいて、空港の人の声が聞こえなかったり、早く話すから聞きとれなかった。
- ・先生の言っていることがわかるけど、頭の中で色々考えても英語で表現できなかった。

C) Cebu English Academy (CEA) の感想

- ・とても過ごしやすい環境でした。みんながフレンドリーで話しやすく面白い方ばかりで楽しかった。英語の授業も細かく教えてくれるのでとても良かった。
- ・一人一人の先生が優しく、おもしろくて、毎日早く授業をしたい気持ちになり、とても気持ちよく二週間過ごせた。
- ・レベルテストをしたけれど、もう少しレベルに合ったことをしたかった。
- ・とても良い先生ばかりで本当に良い所でした。
- ・とにかく人の良さ。
- ・良い人達ばかりで常に楽しかった。でも、部屋の設備（ドア、ドアノブ、洗面台）をもう少しちゃんとしてほしかった。
- ・先生方の人柄が本当に素晴らしいということが一番印象に残っています。SMモールへ徒歩5分とアクセスもよく、ここがいやだったというところは特にありませんでした。
- ・分かりやすく教えていただき、ありがとうございました。
- ・先生がみんなフレンドリーで楽しくできた。
- ・自分が想像していたより設備が整っていた。不自由なく生活できた。

D) 海外研修前と後の自分を比べると、変わったと感じる点がありますか。ある場合、どのような変化を感じますか。

- ・日本では気付かなかったけど、フィリピンでは英語を話せる人がたくさんいることが分かりました。英語は話せて当然なんだと思うと、もっと頑張ろうと思いました。

- ・英語の勉強に対するやる気が変わった。もっと頑張ろうと思った。あと、留学に前より興味を持った。また必ず行きたい。
- ・人に話しかけるのにあまり抵抗がなくなった気がします。
- ・日本の文化に対する見方。
- ・英語を聞く力が上がった。もっと英語を上手くなろうと思っている。
- ・セブにいる時に、発言することを多く求められ、2週間自ら質問したり、意見を言ったり、話しかけたりするよう心掛けたため、今授業中に発言することに対するの恥ずかしさがありません。
- ・初めて外国の景色を見て空気を体感して話して、英語を使って海外に関係する仕事がしたい、もっといろいろな自分が体験していないことをしたい、英語で自分の進路を切り開いていきたいと強く思った。
- ・完璧ではないけれど何かしら英語を話そうとするようになった。小さいミスをしないように気をつけるようになった。
- ・自分の足りない部分があった。意識的に英語に触れようと思った。次に海外に行ったとき自分の思っていることを表現できるように勉強をがんばる。
- ・外国の方とのコミュニケーションに少しためらいがあったが、なくなった。

E) 英語以外でこの研修を通して学んだこと・気づいたことはありますか。

- ・貧困格差。
- ・フィリピンの先生にも言われましたが、自分のことは自分で守らないといけないということを改めて学びました。
- ・けんかするどころかみんなとさらに仲良くなれたこと。クラスのみんなの良い所にたくさん気づけた。
- ・向こうの国の文化を知り、日本がすごく恵まれていると感じた。
- ・フィリピンの人達は日本人ほどお金をもっていないかもしれないけれど、考え方はものすごく前向きで毎日楽しく過ごしていた。とてもフレンドリーだった。
- ・国民性の違い。日本の安全性。日本の接客のすばらしさ。

- ・日本で当たり前だと思っていたことや自分の常識は、海外では通用しない。
- ・質問されても黙っている時間をもったいない。少しでも多く話す。コミュニケーションの大切さを学んだ。
- ・友達の良いところも悪いところもたくさん発見した。フィリピンのガイドブックに載っている場所にたくさん行かせてくれたので、フィリピンにはなにがあるか覚えれた。
- ・文化がそれぞれの国にあって、物事一つでも考え方に違いがあるなどと思った。

III 後輩へ（複数回答のみ記載）

A) 持って行ってよかったと思ったものTOP 3

- ・インスタント食品(8) ・(電子)辞書(7)
- ・着替えの衣類(4) ・コップ(4) ・ハンガー(4)
- ・除菌シート(3) ・トイレトペーパー(3)
- ・日本食(3) ・ビーチサンダル(3)
- ・ウェットティッシュ(2) ・お菓子(2) ・おはし(2)
- ・薬(2) ・バスタオル(2) ・モバイルバッテリー(2)

B) 持って行ったけどいらなかったものTOP 3

- ・靴下(6) ・洗濯用ネット(4) ・長袖(3)
- ・ティッシュ(2)

C) 持って来ればよかったと後悔したものTOP 3

- ・日本食(6) ・洗剤(5) ・ドライヤー(5)
- ・バスタオル(4) ・(多めの)ハンガー(4)
- ・おはし(3) ・カップラーメン(3)
- ・(多めの)タオル(3)
- ・(多めの)シャンプー・リンス・ボディソープ(2)
- ・消臭剤(2) ・(多めの)服(2) ・虫よけスプレー(2)
- ・モバイルWi-Fi(2)

D) 必要だと切実に感じた英語技能・知識（スピーキングスキル、品詞の知識、語彙など）

- ・語彙力(18) ・スピーキングスキル(9)
- ・リスニングスキル(7) ・文法力(4) ・積極性(3)
- ・品詞の知識(3)

E) 海外研修へ参加する後輩へのアドバイス

- ・フィリピンは想像以上に暑いので服装に気を付けたほうがいい。フィリピンのものはとても安い。外国の先生には積極的に英語で話しかけていくべし！
- ・最初は帰りたいと思うけど、段々楽しくなってくる。
- ・フィリピンの先生方はとてもフレンドリーで授業も楽しかったです。
- ・日本食は必ず持って行った方がよい！
- ・単語の意味をたくさん覚えていくほうがよいと思う。軽食を持っていったほうがよい！洗濯は自分の部屋でするのがおススメ。Tシャツたくさん必要！
- ・軽食を多めに持っていっとくと良いよー。洗濯は基本自分たちで2日に1回のペースでしたから柔軟剤とハンガーが必要。下着とか4日分くらいあれば十分。Tシャツは多めがおススメ。
- ・最初の方（自分の場合は1週間）は全然英語が聞き取れなくて、授業が楽しいと思えなかったけど、めげずに必死にくらいつけば、だんだん単語だけから文全体が聞き取れるようになって、会話するのが楽しくなります。騙されたと思ってくらいついてみるべし！
- ・積極的になること！わからないことは聞く！
- ・早めに環境や状況に慣れること。早めに自分の殻を破ること。早めに寝ること。
- ・授業のタイムスケジュールを見ただけだと、10限まであって長いし、大変って思うかもしれないけど、いざ授業をうけると先生たちは本当に楽しく授業をしてくれて、ゆっくり話してくれるから、全く授業が長いと感じません！

- てきて、単語だけでも話せるようになって楽しくなりました。2週間あっという間だから楽しんだほうがいい。
- ・持って行ったけどいらなかったものはほとんどなかったから、大体持って行っても損はしないと思った。
- ・たのしもう。
- ・今でもCEAの先生達とメッセージのやりとりが続いているので、CEAがとても恋しいです。最初は恥ずかしくて全然しゃべれなかったけど、先生達のおかげで少しずつ自分から話しかけるようになりました。
- ・この学校に来て良かったと思える。とても良い研修でした。これからの大学生活につなげていきたいと思えます。
- ・最高の思い出が出来ました。本当に参加して良かったです。ありがとうございました。
- ・日本よりも暑くて湿度も高いため体調管理はしっかりした方がよい！とても楽しくて充実した時間が過ごせる！

IV フリーコメント

- ・全力で英語に取り組めばたった短い2週間でも英語力が大幅に伸びる！
- ・全てが楽しかったです。時間を置いてまた行きたいです。CEAの先生方に会いたいです。
- ・行って良かったと100%思います。
- ・最初1日目着いたときから私は帰りたくなりました。空気は臭いし、ご飯はまずいのでとても日本が恋しくなった。最初の方は先生の言っていることも聞き取れなかったし、とりあえず「YES」と言ってるだけでした。3日目ぐらいから慣れてきて、聞き取れるようになって

